

## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



一般財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 黒木 隆夫  
埼玉県草加市稲荷5丁目



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社栗山百造 所在地：新潟県三条市井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物            名称：木造建築用筋かい金物            商品名：クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ（内使い・床合板仕様）            用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物            取付位置：柱に接する位置の壁体内            取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結            寸法：110×100×35mm，厚さ2.3mm</p> <p>2. 接合具            木ねじ：クリ平頭ビス5×45，筋かい側6本，柱側8本</p> <p>3. 使用軸組            梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm            間柱：すぎ，30×105mm，筋かい：べいつが，45×90mm            床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm</p> <p>4. 試験体数 3体            参照：図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.4 kN，終局変形角<math>\gamma_u</math>の平均値：1/15 rad</p> <p>参照：耐力算定基礎資料：表-2～表-4            荷重-せん断変形角包絡線，変形角曲線及び変位曲線：図-3～図-5            破壊状況：写真-1～写真-6</p>
備考	<p>当該試験結果から，厚さ30mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は，木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm），かつ，終局変形角<math>\gamma_u</math>は1/30rad以上であることが明らかとなったため，  <b>平成12年建設省告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。</b></p>
試験期間	平成27年1月27日及び28日
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 室星 啓和（主担当） 特別参加 高橋 仁
試験場所	中央試験所